

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	人にやさしいまちづくりプロジェクト		実施期間	平成27年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の高齢化率は40%台と、平成25年度の京都府の高齢化率25%を遥かに凌いでおり、今後も過疎・高齢化が進んでいくことが懸念される。過疎・高齢化を食い止めるため、自立再生するための取組を住民と一体となって一層推進していく必要がある。</p> <p>若年層の流出により少子高齢化が顕著な本町は、まちの活力となる子どもが健やかに育つ環境、育児し易いまちづくりへの環境整備が求められている。</p> <p>また、高齢者の健康保持や生きがいがづくりが必要とされ、日頃から運動習慣を身に付け健康を保持する機会づくりが求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の送迎バスを運行し、安全に園児の送迎ができる環境を確保し、子育てを支援する。 ・ 高齢者の社会参加を促進し、生きがいがづくりや健康の増進、学習の機会を提供し、いきいきと健康に過ごせるまちづくりを目指す。 ・ 給食センターの調理備品の購入により、生徒へ安全な食の提供を行い健康増進を図る。 ・ 検診等の対象事業に参加した住民に対しポイントを付加し、ポイントに応じて特典を付けることで、住民の自主的な健康づくりの促進と、健康の重要性の普及啓発を行う。 							
	総事業費（千円）	12,861	本年度事業費（千円）	12,861	交付金額（千円）	5,930		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	保育園バス運行事業	交付対象事業	保育園児の送迎バス運行に係わる委託料			送迎バスの運行により、園児の安全な送迎を実現するとともに子育ての負担軽減を図った。		
	給食センター改修事業	交付対象事業	給食センターの大型オープン、配送コンテナ購入			設備の新設により、子どもの健康管理を推進するとともに衛生管理の向上を図った。		
	地域福祉計画策定事業	交付対象事業	和東町・笠置町・南山城村の3町村共同で計画策定			人口動態や高齢化率が似ている相楽東部3町村で福祉計画を策定することで、地域全体で福祉政策を推進する体制を整備した。		
住民協働事業	地域健康福祉活動推進事業	交付対象事業	和東町社会福祉協議会が実施する事業に対して補助			高齢者の外出機会の確保や地域住民との交流を通して、社会参加の促進を図った。 高齢者ふれあいサロン参加者数：3016名		
	介護予防事業	交付対象事業	高齢者の生きがいがづくりのため運動教室や教養講座等を開講			高齢者の生きがいがづくりや社会参加の促進につながった。 シニアライフサポート学級参加者数：45名		
住民が取り組む事業	茶源郷健康ポイント事業	交付対象事業	検診等の対象事業に参加した住民に対しポイントを付加し特典をつけることで、住民の自主的な健康づくりの促進を行う。			住民の自主的な健康づくり促進につながった。 茶源郷健康ポイント申請者数：128人		
成果指標①	成果指標の目標数値	■ ふれあいサロン参加者数 H26 3,054人 → H27 3,100人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)		■ ふれあいサロン参加者数 H27 3016名		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	継続的な参加者はいるが、高齢化による人口減少の影響で参加者数が減少した。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	■ 介護予防事業参加者数 H26 36人 → H27 40人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)		■ 介護予防事業参加者数 H27 45人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	事業の周知が進んだことに加え、参加者が他の住民に声をかけるなど好循環が生まれていると考えられるため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和束町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	■ 茶源郷ポイント申請者数 H26 144人 → H27 200人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	■ 茶源郷ポイント申請者数 H27 128人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	継続的な参加者はいるが、広報不足などにより新たに申請する人が少なかった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	生きがいつくりや外出機会の提供、健康作りの促進などを通して、幅広い世代に積極的な社会参加を促したことで、住民相互の助け合いや交流を推進し、地域コミュニティの活性化につながった。 ふれあいサロンに関しては、サロンに協力していただいているボランティアの方を中心に声かけを行っていく。 茶源郷健康ポイントに関しては、広報などによる周知徹底を進めるとともに、現在申請している方への声かけや特典の見直しを適宜行う必要があるとも考えられる。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	・地域全体で高齢者を見守っていく体制が整い、住民同士での助け合いなど住民福祉の向上が図られた。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	・ふれあいサロンを通じて高齢者の方の外出機会を確保するなどして、町内に住む高齢者の生きがいつくりにつながった。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。